

第32号

発行 世田谷区町会総連合会
世田谷区若林4-31-9
ポライト第2ビル202
☎・FAX 5481-3456

発行人 会長 後藤 正三
編集情報誌編集委員会
編集委員長 鈴木 誠

せたがや 町総連だより

あけましておめでとうございます



謹んで新年のご祝詞を申し上げます併せて皆様

方のご多幸をお祈り申し上げます。平素は当連合会に対しまして特段のご支援、ご協力を賜り厚く御礼申し上げます。

現在、世田谷区内には197の町会・自治会があり、世田谷、北沢、玉川、砧、烏山の各地域に分かれそれぞれ地域町会連合会として活動しております。この5地域の連合体が町会



新年、あけましておめでとうございます。ございます。

町会・自治会の皆さんにおかれましては、健やかに新年をお迎えのこととお慶び申し上げます。

また、皆さんには、日ごろより区政に対しまして、多大なるご理解とご協力を賜り厚く御礼申し上げます。さて、世田谷区では、区民の皆さんに、いつまでも

世田谷区町会総連合会 会長 後藤 正三

総連合会であります。

町会総連合会の目的は、各単位の自主・自立性を尊重しつつ、相互の連絡協調を行うことにより、区内町会の円滑な運営と発展を図り、区民生活の向上と、福祉の増進に寄与することであります。昨年度は東京都の助成金を利用し、町総連のホームページを開設することができました。

このホームページの利用を促進するため、世田谷区内5総合支所管内で、それぞれホームページの説明会を開催

してまいりました。

若い世帯の町会への加入促進を進めるためにも、ホームページの活用は一つの手段として利用していきたいと考えております。

さらに、区役所をはじめ、警察・消防その他の行政機関と連絡を密にし、区民生活の安全と、福祉の向上に努めていく所存でございます。会員各位のさらなるご支援・ご協力を賜りますようお願い申し上げます。ご挨拶といたします。

世田谷区長 熊本 哲之

住み続けたいと思っております。

ける魅力あふれる安全安心のまち世田谷の実現をめざし、さまざまな取組みを進めております。このようなまちは、区だけで実現できるものでなく、区民の皆さんや地域の団体の皆さんとの協働によるまちづくりが大変重要であります。そのために、区では、「地域の絆」の再生に取り組んでおりますが、町会・自治会の皆さんには、地域コミュニティの中心的な役割を担っ

ていただいております。

区といたしましては、今後とも、魅力あふれる安全安心のまち世田谷の実現に向け、地域の活性化に積極的に取り組んでまいりますので、町会・自治会の皆さんには、引き続き、ご支援ご協力をいただきますようお願い申し上げます。

結びに、世田谷区町会総連合会の益々のご発展と、会員の皆さんのご多幸ご健勝を祈念いたしまして、新年の挨拶とさせていただきます。

目次

新年のご挨拶	1	鳥山地域 「住民自治はよりどころ」	
地域情報		交流を深め地域の縁を絆に	4
玉川地域 「玉川中町公園		世田谷地域 「魅力あるまちづくりをめざして」	5
リニューアルに寄せて」	2	北沢地域 「松原2丁目町会活動」	6
砧地域 「法人格 成城自治会の活動」		町総連ニュース	8
自治会はコーディネーター	3	編集後記	8

玉川地域

地域情報

玉川中町公園リニューアルに寄せて

中町四・五丁目町会長 粕谷孝一

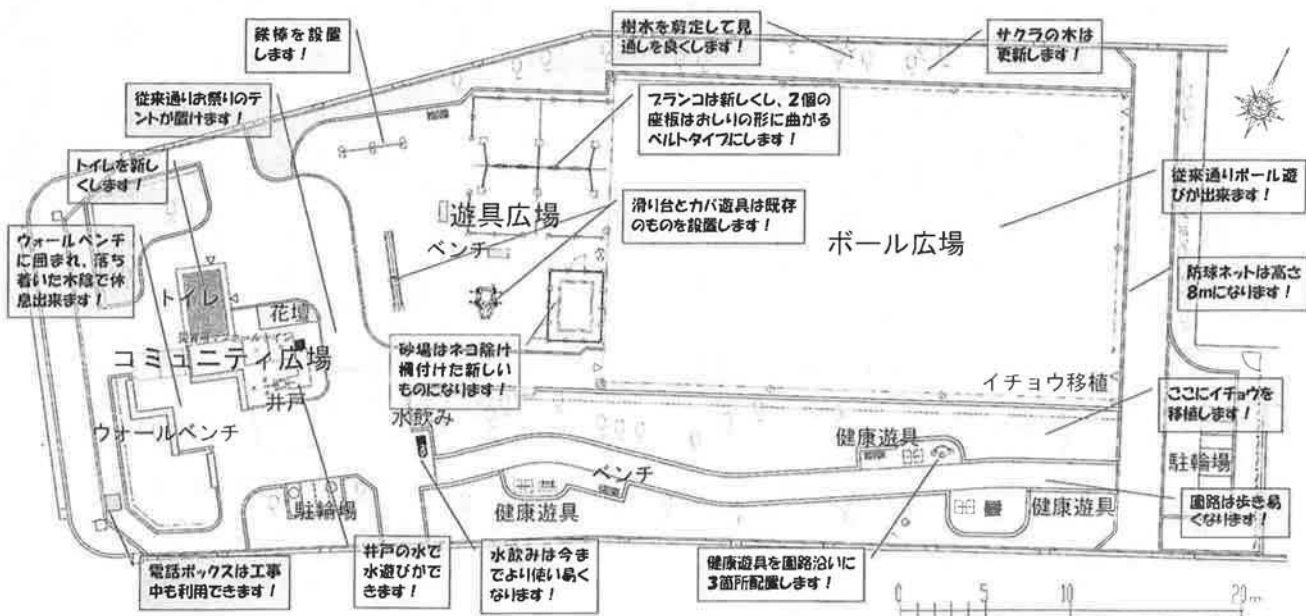
世田谷の中町は玉川地域のほぼ中央に位置し、南から北へ一丁目から五丁目と細長い町です。当町会はその北側地域の五丁目と四丁目一部の会員約一、二〇〇世帯で構成されており、その活動の拠点となっているのが区立玉川中町公園です。昭和二六年四月一日当時



交通安全運動

としては珍しくすべり台やジャングルジムのような遊具を備えた公園として玉川中町二丁目四〇番地に当時の田村区長臨席のもとに多数の関係者を招いて盛大に開園式が挙行されたと伝聞しています。町会も昭和二三年に玉川中町二丁目町会として発足したばかりなので大変な慶事でした。その後昭和四〇年代に住居表示が実施され、それに伴い町名が玉川中町一丁目、二丁目から中町一、二、三、四、五丁目と改名され町会名も必然的に中町四・五丁目町会となりましたが公園名は玉川中町公園のまま現在に至っています。その間に子ども達がのびのびとボール遊びができるようにネット

フェンスで囲まれた広場が整備され、町会行事の会場としても春と秋の防災訓練や夏休み最初の土・日曜日には商店会と合同で盆踊り大会が開催されるまでになりました。また夏休み後半の青少年地区委員会と共催のミニ縁日には三〇〇名近い子ども達にぎやかに集う安全な場所となっています。その他にも春と秋の交通安全運動にはテントを設置して用賀中町通りを見守り、ごみゼロデーには集積地としてなくてはならない場所です。春には八本の桜の大木が見事な花をつけ、夏には樺の木陰のベンチに涼を求める人も多くそれぞれの季節を楽しませてくれますが、



(新) 中町公園予定図

砧地域

平成二二年一〇月七日から八日にかけて台風一八号が本州に上陸し東京も強風が吹き荒れ一本の桜の古木が倒されてしまいました。幸い真夜中で公園の内側に倒れたためすべり台を壊した

ものの怪我人もなく大事には至らずに済みましたが、幹の内は枯れていたようです。すぐにすべり台は新規交換され倒木跡地もきれいにしてくれましたが、この公園広場もいよいよ老朽化

が目立ち全面改修が必要となりました。平成二二年五月に公園緑地課による近隣住民のアンケート調査から六月に第一回検討会が開かれ、その意見とアンケートをもとに七

月に二回目の検討会にて改修プランがまとめられました。八月に最終プランの報告がなされ、その後も協議を重ね一月に着工し、平成二三年三月に竣工予定となります。工事中は公園の使用はで

きなくなり暫くは子ども達のにぎやかな声も聞こえず寂しくなりますが再開後は以前にも増してこの町の中心としての活躍を期待してこの稿を終らせていただきます。

法人格 成城自治会の活動

―自治会はコーディネーター―

理事・広報部長 藤森喜子

現在の成城自治会が発足したのは、昭和26年ですが、成城学園が牛込から移転してきた大正時代末から成城の街はスタートしたといつてよいでしょう。

の学校、そして住民が一体となった協働で実施される企画が多く、街の活性化が図られています。

◇成城3団体、

国から表彰される

戦前と戦後、そして現在までの街の歴史は、毎月発行されている自治会広報誌「砧」でうかがうことができます。

平成22年度の自治会の活動は、商店会、自治会関連の団体、さらに、公立私立

平成22年3月24日、財団法人日本さくら会の会から東京を代表して、自治会の縁と住環境を守る会の3団体が受賞しました。全国44の受賞中の3つを占めた快挙です。これは、

区のみどり政策課、砧総合支所のまちづくり課などのご協力と住民の日常の実践活動があつての結果でした。

◇成城学園前駅周辺を

「路上禁煙地区」に

区内で5番目の路上禁煙地区の指定です。昨年の3月1日からスタートしましたが、まだ完全には徹底しておりません。住民の意識は少しずつ変

化しておりますが、一日に8万人も出入りする成城学園前駅周辺では、浸透するまで時間がかかりそうです。キャンペーン活動もコラボレーションで強化を図っています。

◇成城地区が区の

フィールドミュージアムに

世田谷区では、「せたがやみどり33」の施策の推進とともに、成城の西に広がる国分寺崖線と野川の流れ周辺の8箇所を「緑の博物館」としてとらえ、自然や生きものの学習や体験の場所として考えられています。

・野川緑地広場

- ・ビジターセンター
- ・成城四丁目緑地
- ・成城四丁目十一山市民緑地
- ・成城みつ池
- ・成城三丁目なかんだの坂市民緑地
- ・成城三丁目こもれびの庭市民緑地
- ・成城三丁目緑地

しかしながら世代交代もあり、一軒の敷地跡が50坪程度に何分割かにさわれてしまう事態がよく見受けられるようになりました。そのため、大木の檜の木などが切り倒されそうな事態も生じてきており、成城憲章運営委員会や道路専門委員会など

烏山地域

が精力的に、街の環境保全や住民の安全を守る活動を行っています。

◇広報活動

成城自治会は、自治会

広報誌「砦」を毎月発行しています。今年の6月で700号になります。昭和8年から引き継がれている歴史あるものです。(戦中・戦後の一時期は

休刊) 電子画面では味わえない情報提供を工夫しているつもりです。現在、草創期からの広報誌を紙媒体と電子媒体で保存して

いく作業を始めています。今年の目標は、若者から高齢者まで幅広い読者層に必要とされる誌面づくりをさらに工夫していくことと、住民の連帯感

を高める働きかけに役立てばと広報部一同、心を新たにしているところです。

住民自治はよりびっしり 交流を深め地域の縁を絆に

祖師谷橋自治会会長

安藤 英典

■はじめに

自治会は地域の縁をもとに住民の絆と自治をはぐくむ場、地域での暮らしに必要な住民の努力の産物です。住民の交流を深め確かな絆を築きたいと願っています。以下規模の大きくない自治会のささやかな経験と意見を報告します。

■自治会の生い立ちと運営

上祖師谷地区を南北に流れる仙川の兩岸2丁目

と6丁目の一部が私たち祖師谷橋自治会のエリアです。40数年前、大手デイベロッパーが仙川沿いの水田を埋めて造成した戸建ての住宅団地が私たちの住んでいるところです。私道の街灯電代をどこが負担するかを契機に新規に自治会がつくれ今日に至っています。移住してきた住民だけの自治体ですから苦勞もありましたが、「新住民」

同士の利点を生かして運営を進めてきました。会員の数は当初からほとんど変わらず約300世帯、エリアとしては100%近い加入率です。総会で別記の5項目の「活動の基調」を定め、(1)行政の進める事業への協力、(2)近隣自治会や奉賛会、社会福祉協議会など地域諸団体への参加や連携、(3)自治会独自の活動、などを進めています。

直近一年間の特徴的なとくみ

①全国交通安全運動は春秋とも例年延約150人が参加し、交代で立ち番とパトロールを実施しています。②区民消防隊(D型ポンプ)を2チーム結成。毎年の操法発表会で最優秀賞、優秀賞など表彰されています。③

会員の交流を目的にした「秋の交流親睦会」を開催。餅つき、バーベキュー、子どもゲームなど家族そろって楽しめる行事で例年150名、200名が参加。④「認知症を考える集い」を社会福祉協議会及びあんしんすこやかセンターの協力で開催し31名が参加。また例

祖師谷橋自治会の『活動の基調』

- ①災害や交通事故などから暮らしを守り、安全な街づくりをめざします。
- ②ゴミ問題や環境整備などを重視し健康で明るい街づくりをめざします。
- ③高齢者や子どもが安心して暮らせる街・地域をめざします。
- ④会員相互の交流を進め、気軽に話し合える街・地域をめざします。
- ⑤行政や関係機関、他自治会・町会とも連携して活動を進めます。

年「敬老お祝い事業」を実施し75歳以上の会員にささやかなお祝いを贈っています（今年度は119名）。⑤女性部が「浴衣の会」（着付け教室）を実施、22名が参加、身近なことから交流を深めています。⑥「年末防火パトロール」を実施。例年28日～30日の3日間で延60人が参加。子どもの参加を重視しています。

⑦総会・理事会の決定事項を重視しています。役員とは別に25班ある班の代表（班長）が任期2年の理事になります。4月（総会）、8月（理事会）のサイクルで交流と意思決定をはかっています。毎回85%以上の出席率です。また自治会ニュース「祖師谷橋」の発行を重視、今期はすでに7回（10月末現在）発行。

■日常運営で特に留意

していること
これらの活動を進める

■求心力を高め絆の再生を

行政との関係は住民全体にかかわり、自治会にとっては大きな部分です。自治会への求心力、絆の

再生への鍵にもなります。自治会は①区役所や関係機関の行事への参画や協力。②公設ボランティア活動への人材派遣。③住民の要望や声を反映させます。などの役割を担っています。いま超高齢化など社会の変貌のなかで「行政改革」が避けがたいことと喧伝され、行政サイドからは「共助」や「協働」が強調されています。自治会への期待も聞かれますが「公助」の

後退とセットの「共助」の強調は反発がひろがります。住民自治を原理とする自治会は自主性が損なわれれば活力と求心力が弱まるものです。絆を再生するために原理を生かし状況にふさわしい積極的な対応が必要ではないでしょうか。

世田谷地域

魅力あるまちづくりをめざして

太子堂一丁目町会長 千田文里

太子堂一丁目は、水道局のあるバス通りから三宿の交差点まで、国道246号線（玉川通り）に面しており、南は下馬2丁目と接する長方形の街です。面積は0・193㎦で、人口3045人、1768

世帯です。太子堂他の町会に比べると広い方ですが、人口・世帯数は、そんなに多くはありません。特徴として、昭和女子大学、三宿中学校等の教育施設があり、近い内に、街の西側の関東財務局の住宅の跡地に、区

が民間に委託して実施される保育園も造られることになっていきます。町内に増々子どもの姿、声が増えて、雰囲気も明るくなっていくと楽しみにしています。又、公務員住宅も数多くあり、教育施設と合わせると、全

体の面積の優に2/3を超えていると思われれます。そして、近年、国道246号線沿いを中心にマンションが次々建てられ、高層のビルが連立していることも1丁目の特徴です。この為、住民の数も、この5年で約1000人、500世帯くらいは増えています。従来より居住しておられる方達は、世帯数にして、

そう多くはありませんが、町会活動は、それらの方達を中心に行われています。太子堂地区連合町会の諸活動、八幡神社の祭礼等に積極的に参加することはもちろん、1丁目町会独自でも、いくつかの活動を行っております。その一つは、通常の防犯、防災パトロールに加えて、子ども達を中心とする子どもパトロールの実



ごみゼロデー



防災訓練

施です。父兄を含めて子ども達に防犯・防災の意識を高めてもらうと共に、町会の活動も身近に感じてもらうのではないかと期待しております。このパトロー

ルの活動と効果については、区長より表彰状も頂いております。又、近年、住民の中で高齢の方々が増えてきていることもあり、お年寄りに元気で明るく過ごして

いただきたいという願いから、75歳以上の方達を対象に敬老会を実施し、すでに十数年以上続けています。そして、町内の環境維持、美化活動として、警察署の職員の家族の方達と共に、1丁目公園の清掃を毎週続けております。

空襲で焼け落ちた、草一本生えていない瓦礫の旧陸軍兵舎の跡地から始まった1丁目町会の活動は、住民どうし助け合い、街づくり

は、すっかり住宅地環境は整っています。マンションが増え、それにつれて人の出入りも頻繁になり、町会に対する意識は、ややもすると薄くなりがちな現状です。しかし、今後も、子ども

の力がひびき、お年寄りも元気で、住民みんなが安全で気持ちの良い環境で暮らせる街であってほしいし、いつ起きるかもしれない災害にも十分対処できる態勢を備えた街づくりは、

「太子堂1丁目に住んで良かった」と言ってもらえるような、魅力ある街づくりを目指していきたいと思っています。

交通安全パレードに参加
子どもパトロールと東京タワーみこし



北沢地域

松原二丁目町会活動

松原二丁目町会会長 富永正義

松原2丁目町会は、創立75周年の松原小学校を中心に活動しています。

夏休みの、ラジオ体操・ホタル鑑賞会・デイキャン

プ・防災訓練・その他の行事のポイントとして使用させていただきます。

●【活動紹介】
羽根木公園の梅まつりの

お手伝い、各学校の卒業式・入学式に参列しました。

●「地域の絆再生事業」、地域コミュニティ活性化支援事業として、防災パト

ロール、松原落書き消しを参加団体として、2丁目町会、松原まちづくりセンターの方々、明大前商店街振興組合、日本学園高校、二階堂高校、東京電力の以上の方々の協力で行いました。

●春の全国交通安全運動を4月6日～15日まで当番

制で駅前広場にテントを設置して行いました。

●2丁目の住民の健康増進と絆を深めるために、春と秋の2回、歩こう会を開催しています。

春は、北区の王子から桜の名所飛鳥公園へ。
ちなみに秋は、清澄庭園と深川江戸資料館をめ



防犯パトロール



落書き消し

ぐる会でした。

●5月「56回通常総会」を行い、総務部・防火部・防災部・防犯部・交通部・厚生部・環境部各部門も前年度の行事を発表しました。

●予算・決算の発表、本年度の事業計画案を発表し質疑応答の後、終了しました。

●古着回収も春と秋の2回、多くの方々の協力で成果が上がりました。

●7月は21日～31日の11日間、ラジオ体操に毎日100名近くの方が集まり、松原小学校の校庭で楽しく行いました。

●10月は防災訓練を小学校の校庭で、松原1～6丁目の全町会で各種の訓練をしました。いざという時に役立つことと思います。

●10月2日は緑化フェア。

●10月2日は緑化フェア。弁天公園で当番である3・4丁目自治会が「せたがやみどり33」に合わせて、全町会で苗木の配布、観葉植物等のチャリティ、緑化クイズ、園芸講習、ウッドチップコーナー、腐葉土コーナー、明るい選挙推進キャンペーン、牛乳パックリサイクルキャンペーンをしました。この催しは大変

有意義でした。(当番の3・4丁目の役員の方々、まちづくりセンターの職員の皆さん有難うございました。)

●10月9日は「まつばらデ

イキャンプ」あいにくの雨の中、松原小学校の児童など400名に参加いただき、ミニ防災訓練やぞうきんがけレース、昔あそびなどを楽しんでいました。全町会の女性が協力した大量のカレー作りは大変でしたが、子どもたちの「おいしい！」という声を聞きうれしい限りでした。

●本年度は、5年に一度の国勢調査では、調査員が受持区域の住民に調査表を配布し、何度も出向いて、大変でしたが一生懸命努力、協力されご苦労様でした。

●11月からは新しい「松原2丁目」とプリントされたジャンパーを着用して、防犯パトロールを行い、可愛らしい小学生と言葉をかわしながら楽しくパトロールができました。

●そして世田谷百景に選ばれている松原菅原神社の例大祭太鼓巡行、子どもみこし巡行を、明大前駅前では「松二お祭りを楽しむ会」のメンバーが中心となり、町会を子どもみこし巡行を楽しみました。

元気のいいちびっこたち「おみこしをかっこよく!!」が合言葉でした。

さいごに「松原マップ絆」

は、松原の4つの町会、自治会が協力して、防災・防犯を中心に編集し、災害時の対応や、日ごろの地域の防犯活動などを知っていたために作成されています。

このマップは、毎年新しく作られ、町会に加入していない方にもまちづくりセンターで配布しています。

交通安全週間、避難所運

営訓練、地区防災訓練、防

犯パトロール、らくがき消

し、明大前ピースメーカー

ズ(平成14年に日本初の民間

交番として誕生して、子

どもたちの登校下校の見守

り、夜間パトロールなどを

行い、20年10月に内閣総理

大臣賞を受賞)についてや、

夜間、休日の急病への対応、

医療機関に関する案内相談

が丁寧に書かれています。

その他の相談窓口の紹介も案内をしています。

各町会長も写真入で紹介。1丁目町会 岩田保氏、2丁目町会 富永正義、3・4丁目自治会 穴戸鉄男氏、5・6丁目自治会 池田紀明氏の4氏です。この絆マップを大いに活用して快適な生活を送っていただきたいと思います。

◎町会・自治会長交替のお知らせ

平成23年1月10日現在

町会・自治会名	新会長	前会長
馬事公苑前ハイム管理組合	阿部 平四郎	牛尾 信重

町総連ニュース

総会

▼平成22年6月24日

第32回

ふるさと区民まつり

▼平成22年7月31日

8月1日

町会・自治会加入促進ポスターを掲示し、加入チラシやグッズの配布等PRを行った。

正副会長会

▼平成22年9月22日

1 世田谷区地域保健福祉審議会委員の推薦について

2 世田谷区社会福祉協議会「第8回 地域福祉推進大会」の開催の案内

3 東京都町会連合会常任理事会報告

(1) 平成22年度赤い羽根共同募金運動について
のお願い

(2) 個人情報保護制度に関する説明会の開

催について

(3) 「東京都子供見守りボランティアリーダー育成講座」の開催について

(4) APEC(アジア太平洋経済協力)首脳会議に備えたテロ警戒への取組強化について

4 「大学・地域の協働による学生まちづくりプレゼンテーション大会」の実施について

▼平成22年11月16日

1 予算要望書・アンケートについて

2 東京都町会連合会常任理事会報告

(1) 防火防災協会と自主防災連合会について
(2) 「東京都青少年の健全な育成に関する条例」(不健全図書)の改正について

町総連ホームページ説明会の実施

▼平成22年7月26日(月)
世田谷地域

場所 区役所

ブライトホール

▼平成22年9月7日(火)

烏山地域

場所 烏山総合支所

4F会議室

▼平成22年9月27日(月)

北沢地域

場所 梅丘パークホール

▼平成22年10月8日(金)

玉川地域

場所 玉川区民会館

4F集会室

▼平成22年11月5日(金)

砥地域

場所 砥総合支所

2F指導室

情報誌編集委員会

▼平成22年10月19日

町総連だより第32号の編集方針等

▼平成22年11月25日

町総連だより、原稿の確認読み合わせ

▼平成22年12月16日

町総連だより、原稿の校正等

◎町総連情報誌編集委員会名簿

平成22年9月現在

氏名	所 属
会長 後藤 正三	北沢3・4丁目西町会会長
委員長 鈴木 誠	上北沢1丁目自治会会長
副委員長 堀池 有	桜上水1丁目町会会長
委員 木村 邦夫	玉川中町会会長
委員 堀江 義之	若林町会総務部長
委員 鮎川 郁男	弦巻町会会計監査
委員 佐藤 和郎	豪徳寺一丁目山下自治会会長
委員 福原 弘平	祖師谷3丁目南町会会長
委員 松本 俊雄	成城団地自治会会長
委員 高橋 和夫	烏山下町会会長

編集後記

町会・自治会の役割は、地域の方々が自分たちの「まち」を安全で安心して暮らせる「まち」にすることだと思えます。町会の活動は本号の各地域情報にも掲載されており、ますますように多岐にわたっております。

今後、町会活動の更なる飛躍・発展を期待して、この「町総連だより」が少しでも皆様のお役に立つことを願っております。

編集委員 松本 俊雄

東京都知事功労者表彰

▼平成22年10月1日

東京都庁において、
根岸 茂町総連常任理事
(若林町会長)が東京都功
労者表彰を受けました。

平成23年度総会(予定)

▼平成23年6月30日(木)